セント・ギガ オーディオ・デコーダ（保証書付）

取扱説明書

ST-6164

目　次

※このセント・ギガ オーディオ・デコーダはBSの音声放送専用です。映像はご覧いただけませんのでご注意ください。

- 有料放送サービス契約にご加入いただきまして、ありがとうございます。
- この取扱説明書は、一度お読みになったあとも保証書とともに、大切に保管しておいてください。
- セント・ギガ オーディオ・デコーダの具体的な接続方法については、本取扱説明書の「各機器との接続例」をごらんください。

衛星デジタル音楽放送株式会社
SATELLITE DIGITAL AUDIO BROADCASTING CO., LTD.

ご使用の前に

●衛星放送を受信するには…

セント・ギガは有料の衛星放送です。セント・ギガの放送を受信するには、このセント・ギガ オーディオ・デコーダのほかにBSアンテナ、BS機器、さらにオーディオ・システム(ステレオなど)が必要です。

●セント・ギガ オーディオ・デコーダの取り付けについて…

セント・ギガ オーディオ・デコーダの接続はお客様ご自身で実施してください。具体的な接続方法は7ページをご参照ください。
なおBSアンテナの取付工事はご購入店でご相談ください。(この場合別途費用が必要です)

●セント・ギガ オーディオ・デコーダに接続できるBS機器

セント・ギガ オーディオ・デコーダをBS機器と接続するためには、ご使用されるBS機器に、「ビットストリーム出力端子」がついていることが必要です。
お客様のお手持ちのBS機器に「ビットストリーム出力端子」がついていない場合には、そのBS機器のメーカー、またはセント・ギガ クルーズ(裏表紙参照)にご相談下さい。

●デコーダID番号について

セント・ギガ オーディオ・デコーダには、1台1台に異なった番号(デコーダID番号)がつけられています。このデコーダID番号は、お客さまの有料放送契約内容などを管理するために使用されている、たいへん大切な番号です。また、このデコーダID番号は有料放送サービス契約にご加入いただいている方かどうかを確認させていただく際にも使用されることがあります。
したがって、セント・ギガ オーディオ・デコーダ本体の底面と、本取扱説明書の裏表紙にある保証書に、このデコーダID番号が印刷されたラベルが貼り付けられていますので、まず最初にご確認ください。
万が一、デコーダID番号ラベルが貼り付けられていない場合には、セント・ギガ クルーズにご連絡ください。また、このラベルは再発行いたしませんので、決してはがしたりよごしたりしないようにしてください。

●取扱説明書の保存について

この取扱説明書は裏表紙に印刷されている保証書とともに、紛失しないように大切に保管しておいてください。

仕　様

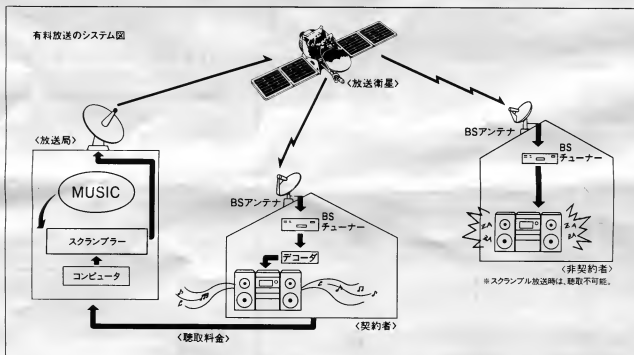
品名	セント・ギガ オーディオ・デコーダ
形名	ST-6164
使用電源	AC100V　50/60Hz(5W)
接続端子	ビットストリーム入力(0.5V±0.1VP-P/75Ω) ビットストリーム出力(0.5V±0.1VP-P) 音声出力(右、左)　2系統(240mVrmsフルスケール　−18dB時) デジタル音声出力(光) AC入力(プラグインタイプ) AC出力最大300W(非連動)
外形寸法	幅36cm、高さ6.3cm、奥行25.8cm
重量	2.6kg

付属品

電源コード	1本(1.8mプラグインタイプ)
接続用ピンコード	音声用1本、ビットストリーム用1本
取扱説明書	1部(保証書裏表紙印刷)

有料放送のしくみと
セント・ギガ オーディオ・デコーダの役割

有料放送では、有料放送サービス契約を結んで聴取料金を支払っている世帯だけが番組の聴取ができるように、番組をスクランブル(攪乱)して放送します。スクランブルがかけられた番組は音声がかきみだされているため、BSアンテナとBSチューナーだけでは聴取できません。

このセント・ギガ オーディオ・デコーダは、スクランブルのかけられた番組を、電波で送られる暗号によって解除し番組を正常に受信するための機器です。したがって、有料放送を受信するためには、このセント・ギガ オーディオ・デコーダをBS機器とステレオの間に接続することが必要です。

(お願い)

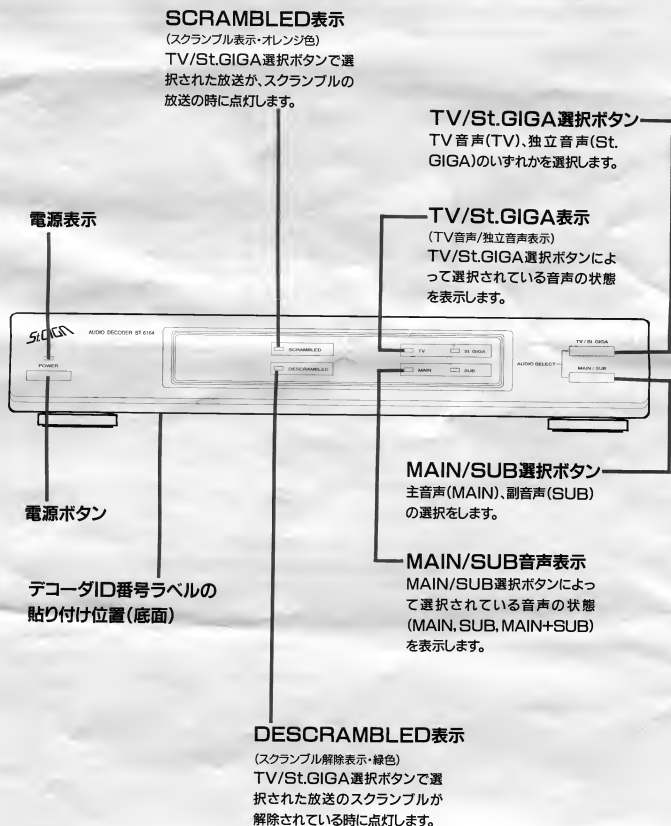
電波で送られる暗号は、通常の聴取状態であれば、目的の衛星放送を受信することで自動的に取り込まれます。この暗号を電波で送り出す期間については別途「有料放送開始のご案内通知書」によりお知らせいたします。お客様にはこの通知書でお知らせする期間、セント・ギガ(又はWOWOWも可)を連続1時間以上受信してください。

なお、長期不在等でこの期間に聴取できなかった場合、暗号の取り込みができず聴取できなくなる場合がありますので、このような場合は、セント・ギガ クルーズへご連絡ください。直ちにもう一度暗号をお送りする手続きを取らせていただきます。

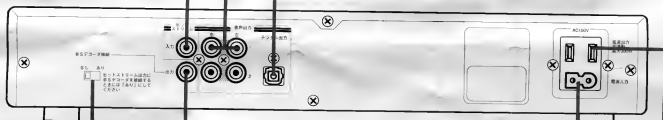
各部のなまえとはたらき

【前面】

【背面】

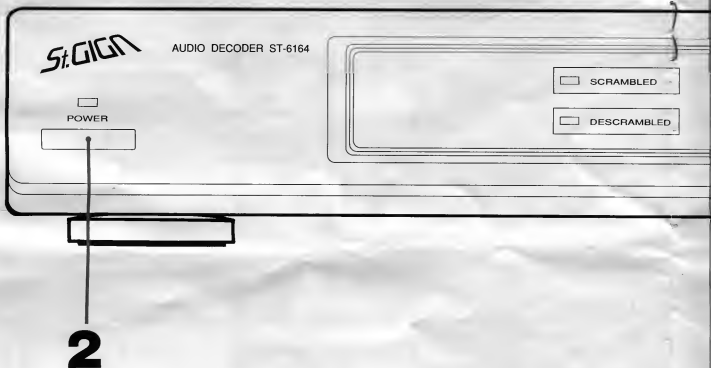
音声出力端子
オーディオ・システム等の音声入力端子につなぎます。
音声用ピンコードは、1本付属しています。
（出力は2系統用意されています）

ビットストリーム入力端子
付属のビットストリーム用ピンコードでBS機器のビットストリーム出力端子につなぎます。

デジタル音声出力端子（光）
デジタル入力（光）のあるオーディオ機器につなぐときに使います。
（P.7参照）
〈接続には光ケーブルが必要です。（別売）〉

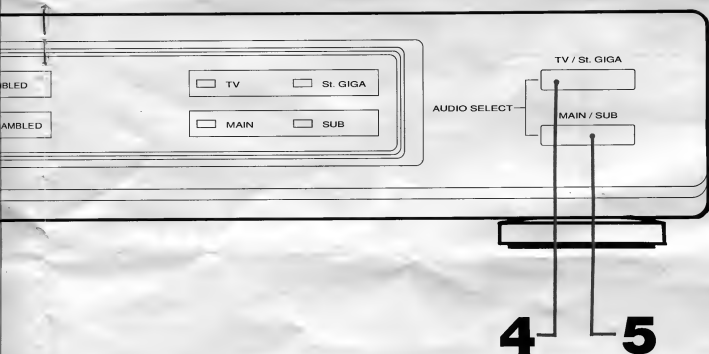
電源コード接続端子
付属の電源コードをつなぎます。
まっすぐに止まるところまで確実に差込んでください。

ビットストリーム出力端子
1台のBS機器に2台のデコーダを接続する場合は、この端子を利用します。（P.8参照）

電源コンセント
電源ボタン非連動で300Wまでの他の機器につなげます。

デコーダ接続あり/なし
ビットストリーム出力に別のデコーダが接続されるかどうかにより切替ます。

セント・ギガを聴取するには

1 **オーディオ・システムやBS機器の電源を入れます。**
(オーディオ・システムのBS、AUXなどの入力を選びます。)

2 **セント・ギガ　オーディオ・デコーダの電源を入れます。**

3 **BSチャンネルを選択します。※(1991年11月現在セント・ギガは、BS5チャンネル)**
[BSチューナーや、BS内蔵テレビ、BS内蔵VTRなどで選局します。]
※衛星放送のチャンネルは変更する場合がございます。

4 **TV/St.GIGA(TV音声/独立音声)ボタンでSt.GIGAを選びますと、独立音声放送が流れます。**

〔ボタンを押すごとに表示がTV⇄St.GIGAと切り替わります。〕

5 **MAIN/SUB(主音声/副音声)ボタンは二重音声放送の場合に用います。(TV音声の二カ国語放送や副音声放送等)**

〔ボタンを押すごとに表示が
MAIN→SUB→MAIN+SUBと
切り換わります。〕

※セント・ギガでは二重音声放送を行っておりませんので、いずれの選択の場合でも関係ありません。

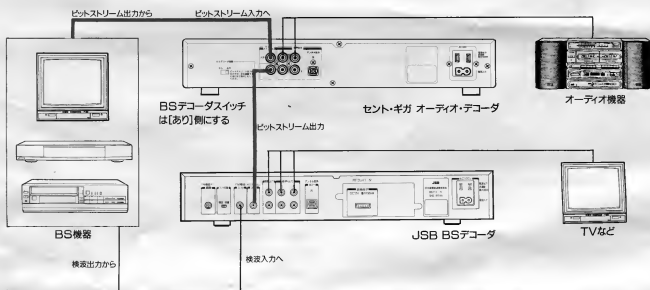
各機器との接続例

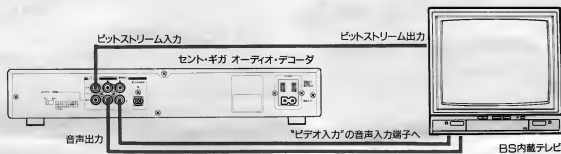
BS内蔵TV
BSチューナー
BS内蔵VTR
お手持ちの、BS機器のビットストリーム出力からセント・ギガ オーディオ・デコーダのビットストリーム入力へ接続ください。
ビットストリーム出力
ビットストリーム出力
ビットストリーム出力
ビットストリーム入力へ
ビットストリーム用
ピンコード(黒)
セント・ギガ オーディオ・デコーダ
AC100V
なし
あり
ビットストリーム出力端子に他のデコーダを接続した場合はこのスイッチを「あり」にしてください。
光ケーブル(別売)
電源コンセントへ
音声用
ピンコード
デジタル音声入力端子のある、
ステレオ装置(DAT)などの場合
デジタル音声
(光)入力
入力端子「BS」「AUX」
「LINE」などへ
オーディオ機器や
館内放送設備
ご注意:
デジタル音声出力端子(光)には、ほこりよけのためにキャップがついています。
接続の際は、このキャップを引き抜いてはずしてください。接続には市販の光ファイバケーブルをご使用ください。
引き抜いて
はずす
キャップ

接続上のご注意

こんな場合、接続上の注意が必要です

1台のBS機器から2台のデコーダを接続する場合

例えばJSB BSデコーダとセント・ギガ オーディオ・デコーダの2台を接続する場合は、ビットストリーム信号を図のように接続してください。

BS機器のデコーダ対応端子について(BSデコーダ入力、BSリターン入力等)

BS機器のデコーダ対応端子にセント・ギガ オーディオ・デコーダの音声出力を接続されると、チャンネルが変更できなかったり、音声が出ない等の不具合が起きることがありますので、この場合はBS機器の"ビデオ入力"や、"外部入力"などに接続してください。(BS内蔵テレビではチャンネルを選んだ後、"ビデオ入力"や"外部入力"を選んでください)

テレビのスピーカーでお聴きになる場合

①セント・ギガ オーディオ・デコーダの音声出力から、テレビのビデオ入力の音声入力端子へ接続し、②テレビを"ビデオ入力"に切り替えてください。

ご注意　テレビの機種によっては、映像が接続されていないと雑音が出たり、電源が自動的に切れるものがありますので、その場合はこの接続を中止してください。(お手数ですがオーディオ機器と接続してお聴きください)

ビデオデッキで録音される場合

ビデオデッキでの音声録音は通常、映像の録画が伴わないとテープの走行が不安定になるため、正常に録音されません。もし録音される場合はセント・ギガ オーディオ・デコーダの音声出力に加え、BSチューナーなどの映像出力を、ビデオデッキの外部入力(LINE入力など)に接続してから録音を開始してください。

使用上のご注意

安全のために

セント・ギガ オーディオ・デコーダの上に花瓶や水などが入った容器を置かないでください。万一内部に水などが入った場合は、差し込みプラグをコンセントから抜き、セント・ギガ クルーズにご連絡ください。そのまま使用すると火災や故障の原因になります。

セント・ギガ オーディオ・デコーダのキャビネットは外さないでください。内部にさわると感電のおそれがあります。内部の調整、点検はセント・ギガ クルーズにご依頼ください。

セント・ギガ オーディオ・デコーダの通風孔から、金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。万一異物が入った場合は、差し込みプラグをコンセントから抜いて、セント・ギガ クルーズにご連絡ください。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

電源コードの上に重いものを絶対にのせないでください。傷がついて火災・感電の原因となります。傷んだら、セント・ギガ クルーズに交換をご依頼ください。電源コードが熱器具に近づくような場合は、十分な距離をとるなどして熱器具に触れないようにご注意ください。差し込みプラグを抜くときは、コードをひっぱらずに、必ずプラグを持って抜いてください。

正しい置き場所

直射日光が当たる場所やストーブのような熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。

本機の内部には、温度上昇する部分があり、表面が熱くなります。十分な放熱が行われるようにご使用ください。狭いところに押し込んだり、テーブルクロスをかけたりしないでください。

油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

お手入れの仕方

キャビネットの表面にベンジンや殺虫剤など揮発性のものをかけたり化学ぞうきんなどで拭いたりしないでください。変質したり、塗装がはげることがあります。汚れはネルなど柔らかい布でかるく拭き取ってください。

異常がおきた時

万一故障した時は、すぐに差し込みプラグを抜き、セント・ギガ クルーズにご連絡ください。

修理を依頼する前に

故障かな?・・・とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に次の点をお調べください。

電源が入らない	●セント・ギガ オーディオ・デコーダの電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 ●セント・ギガ オーディオ・デコーダに電源コードがしっかりと差し込まれていますか。
オーディオ機器から音がでない。	●オーディオ機器の電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 ●オーディオ機器の電源が入っていますか。 ●セント・ギガ オーディオ・デコーダが正しく接続されていますか。 ●ステレオアンプなどの音量(ボリューム)が最小になっていませんか。 ●ステレオアンプなどの音消(ミュート)スイッチが入っていませんか。 ●セント・ギガ オーディオ・デコーダのTV/St. GIGA切替えをSt. GIGAにしていますか。 ●放送衛星が月食や地球食になっている時には、放送は休止されます。 ●有料放送サービス加入契約が行われていますか。 ●有料放送サービス加入契約が期限切れになっていませんか。 ●セント・ギガ有料放送開始のご案内に記載されたデコーダID番号は、お手持ちのデコーダ本体の番号と相違ありませんか。
雑音が入る	●BSアンテナの方向調整があっていますか。 ●BS機器、セント・ギガ オーディオ・デコーダなどが正しく接続されていますか。 ●接続に使用しているケーブルが痛んでいませんか。 ＊衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ると、電波が弱くなり、また、雪がアンテナに積もると受信状態が悪くなるため、一時的に音声に雑音がでたり、ひどい場合には、まったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので故障ではありません。

保証と修理 サービスについて

保証書について

この取扱説明書には「保証書」がついています。
保証書には「デコーダID番号」が貼り付けられていますので、念のためセント・ギガ　オーディオ・デコーダ本体底面に貼り付けられている「デコーダID番号」と同じことをご確認のうえ、大切に保存してください。

保証期間

このセント・ギガ オーディオ・デコーダの保証期間はお客様のもとにデコーダが届いた日から1年です。保証期間内においても有料修理となることがありますので、保証書の無料修理規定を良くお読みください。

修理サービスについて

●製品に異常が生じた時はセント・ギガ クルーズにご連絡ください。
●ご転居の時には事前にセント・ギガ クルーズにご連絡ください。

補修用性能部品について

セント・ギガ オーディオ・デコーダの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するため必要な部品です

セント・ギガ オーディオ・デコーダ保証書

This warranty is valid only in Japan.

本書は、本書記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。

〔無料修理規定〕

1. お客様が取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書により正常なご使用をされている状態で保証期間中に故障した場合には、ID番号と共にセント・ギガ クルーズへご連絡ください。デコーダの動作状況を確認の上、無料修理のご案内をさせていただきます。ご案内により現品をお送りいただく場合は下記の住所宛お送りください。(保証期間中の送料は弊社にて負担いたします。)
2. 保証期間はお客様のもとに到着した日から1年間です。デコーダが到着しましたら右側の欄にお客様のお名前、到着日をご記入のうえ保管ください。(保証期間はID番号ごとに当社で管理しております。)
3. つぎのような場合には保証期間中でも有料修理になります。
   ①ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
   ②お引渡し以後の落下、及び輸送上の故障及び損傷。
   ③火災、塩害、ガス害、公害、地震、風水害、落雷、異常電圧及びその他の天災地変による故障及び損傷。
   ④接続する機器の故障により誘発する故障及び損傷。
4. 修理などアフターサービスについてご不明な点はセント・ギガ クルーズにお問合せください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

型名	ST-6164
デコーダ ID番号	

SN23551485

お客様	
ご住所	
お電話番号	☎
お名前	様

保証期間	お客様のもとにデコーダが届いた日 19　年　月　日から **1年間**

※この保証書は、本書の規定した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間などについて、詳しくは取扱説明書をご覧ください。

デコーダID番号を正確にご連絡いただけないと無償保証の確認ができません。
本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

SATELLITE DIGITAL AUDIO BROADCASTING CO., LTD.

本品は"外国為替及び外国貿易管理法"で定められた戦略物資に該当します。本品を輸出する時、または国外に持ち出す時は、日本国政府の輸出許可が必要です。また、国外で本品を使用してSDAB(セント・ギガ)の有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。

This St. GIGA Audio Decoder applies to Strategic Goods under"Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law with Concomitant Orders and Ordinances". In case of exporting or bringing out abroad this decoder, export approval by Japanese government is needed. Receiving the services of SDAB's broadcasting by using this decoder abroad is strictly prohibited by the contract of subscription to SDAB.

お問合わせ先 セント・ギガ クルーズ 東京都渋谷区神宮前2-4-12 フルークス外苑2F☎03-3796-1200

23551485